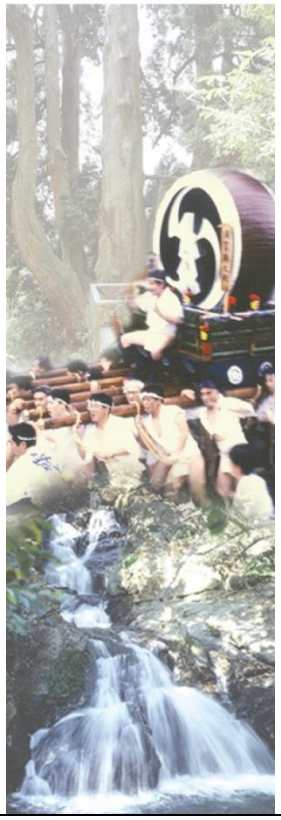
４　構成町の横顔

南部消防署管内

志免町（しめまち）	宇美町（うみまち）	須恵町（すえまち）
		
志免町総合福祉施設「シーメイト」は、・総合的情報の発信基地・自立の共存を図る・誰もがフリーアクセスできる。をコンセプトに福祉事業の拠点となっています。	宇美八幡宮は、神功皇后が新羅遠征から帰還して、この地で応神天皇をお産みになったことから安産の神様として全国的に知られ、町名も「産み」に由来します。	上須恵須賀神社「祇園山笠」は、明治時代中ごろから始まり、毎年７月下旬の「かき山」の１週間前から飾り山が飾られ、当日は勇壮に町内を駆け抜けます。
岩崎神社で毎年９月に行われる伝統行事「石投げ相撲」の起源は江戸時代末期とされ、見物客が石を投げ合うほどに熱中したことが名前の由来という。現在は、子供相撲や赤ちゃんの土俵入りが行われ青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。	宇美八幡宮に毎年４月１５日と１０月１５日に奉納される神楽で清楚で神への敬謙さが、よく表現され、現在も神楽座が構成されて、熱心に受け継がれています。 （県指定無形民俗文化財）	「左谷山建正寺」に安置されている「木造十一面観音立像」（県指定有形文化財）は、十一の面に人々の苦しみを救う力を秘めているといわれ、発見当時は傷みが激しく、修復後は厳重に安置されていますが、年に一度だけ、４月に一般公開され拝観できます。
町の花：サクラ	町の花：ツクシシャクナゲ	町の花：つつじ

中部消防署管内

粕屋町（かすやまち）	篠栗町（ささぐりまち）	久山町（ひさやままち）
		
筑前三大大池のひとつ駕与丁（かよいちょう）池が「駕与丁公園」として整備され、住民の憩いの場となっており、公園内の粕屋町総合体育館「かすやドーム」は、円形状の屋根が青い空と池の湖面によくマッチしています。	若杉山の大和の森には計５本の巨大杉が天高く伸び、森の巨人たち百選に選ばれている「トウダの二股杉」や５本の中でも最も大きな「大和の大杉」は幹周 16.15m、樹高 40m あり、大自然の偉大さ、雄大さが体中を包みます。	伊野皇大神宮沿いを緩やかに流れる猪野川と久原川の上流は、螢の生息地として有名で、猪野川の源氏螢、久原川の平家螢の乱舞するひかりは、幻想的な世界を作り出します。
２１世紀の粕屋町の祭りとして「よさこい祭り」が推奨され、毎年かすやドームをメイン会場として、老若男女を問わず、町民多数が参加し楽しいお祭りが開催されています。	篠栗町で開催される夏のイベント「篠栗祇園夏まつり」では、昔ながらの風情漂う 100 店もの露店が並び祭りのムードを盛り上げ、夜にはフィナーレに花火が打ち上げられます。	久山欅太鼓は、ジュニアからシニアまでの４チームで編成し、地元の祭りや各地区のイベント、福祉施設の慰問などで活躍され、青少年の健全育成に大きな役割を担っています。
町の花：バラ	五塔の滝：鳴渕川渓流の滝	町の花：えびね

※掲載写真は、本部エントランスに掲げるタペストリーの写真です。

文章は写真の上、中、下段について、それぞれ説明しています。